

PALM8における主な協力・支援策



**これまでの実績を踏まえた、従来同様の、しっかりとした開発協力の実施
成長と繁栄の基盤である人材の育成・交流の一層の強化（3年間で5000人）**

I 自由で開かれた持続可能な海洋 【3年間で5000人の人材育成・交流】

太平洋の安定と繁栄に向けて法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序を守る。

- 海上法執行を含む海上保安分野における能力向上支援（違法漁業対策の人材育成プログラムの実施，海上法執行分野における人材育成プログラムの実施，機材供与等）
- 海洋生物資源管理・海洋環境保全分野における協力
- 海上輸送網の整備による連結性の強化（国際スタンダードに則った港湾等の質の高いインフラ整備）

II 強靱かつ持続可能な発展の基盤強化

強靱かつ持続的な発展の基盤を脅かす、気候変動・自然災害・環境問題へしっかりと対応する。

- 再生可能エネルギーの一層の導入，効率的な活用
- 防災能力の一層の強化（災害情報伝達システムの整備等）
- 廃棄物管理能力の更なる向上による生活衛生環境の改善（廃棄物処分場の整備等）
- 保健・医療，教育等の社会サービスの更なる向上

太平洋島嶼国における観光等の産業育成や日本との貿易・投資促進を支援する。

- インフラを含めた産業育成基盤整備（空港整備等）
- 太平洋島嶼国との民間経済交流の後押し（中小企業を含めたビジネス・マッチング等）

III 人的交流・往来の活性化

人材育成強化によって社会経済発展を支援し，交流活性化で人的な絆を強化する。

- 未来を担う世代を中心とした多様な分野での人的交流「JENESYS」の推進
- リーダー育成プログラム「Pacific-LEADS」の推進
- 「太平洋島嶼国・日本地方自治体ネットワーク」設立を通じた地方による交流活性化
- 全ての太平洋島嶼国への一般数次査証の導入
- 日本語教育の活性化（南太平洋大学における日本語教育立上げへの協力）
- ラグビーワールドカップ2019及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたスポーツ分野での協力